

1台 2役！ ランサムウェア対策を“短期間”“低コスト”“運用重視”で実現する 導入パック

## ランサムウェア ~~MAX~~ プロテクションパック

世界中で猛威を振るう ランサムウェア や 標的型攻撃 から、大事なデータ資源を守るために何をするべきでしょうか？  
 具体的な対策の仕組みとして効果が期待できる製品を、スワットブレインズ社が 独自のコラボレーションパック としてご提供。  
 現場に 必要とされる仕組みを “短期間”, “低コスト”, “運用重視” に注目した形でご提供します。  
 純国産の『FFRI yarai』・『Secure Back 4』の組み合わせは、安全な事業継続 の観点からも 最強のコラボレーションパック になります。1台の管理サーバで、両方の仕組みを稼働させる【MAXプロテクション】パックです。

### ◇ ランサムウェア(標的型攻撃)対策に必要な観点

I もしも、着弾しても発病(活動)させない “防御の仕組み”を導入  
 II 身代金を“払うこと無く” PC端末を再構築後に“直前までの業務復活”  
 が容易に可能となる “データバックアップの仕組み”を導入  
 ⇒ この2段構えの仕組みによりビジネスリスクの低減を実現します。



- ・標的型攻撃対策、ランサムウェアの防御実績多数の安心
- ・データ復旧時の運用を見越したバックアップツールの安心
- ・純国産ソフトウェア導入による日本語環境での稼働の安心
- ・管理サーバによる各製品の集中管理・監査が可能になる安心

2つの“安心の仕組み”を  
 1台に搭載した 管理サーバシステムで実現！  
 それが「**MAX**プロテクションパック」です。



※ FFRI yarai 製品、Secure Back 4 製品、または、各製品の管理サーバに関する詳細な機能や仕様については、開発元の公開情報 又は、弊社WEBサイトに掲載する 製品情報などをご確認ください。 本資料は、製品モデルを告知するものとなります。



## ◇ ランサムウェア(標的型攻撃) 問題の背景と対策

これまで日本のオフィス端末を襲ってきた数多くの標的型攻撃によるマルウェアや、コンピュータウイルスなどの不正プログラムは常に進化を続け、ついに従来の検知技術では対応が困難になりました。日本向けに仕掛けられる数々の攻撃は、日本国内の“都合に応じた対策案”が必要になります。

FFRI yarai は【WannaCry】だけでなく、これまで日本年金機構の事象で使用されたマルウェアの【Emdivi】や、オンラインバンキングユーザーを狙った不正送金マルウェア【URLZone】を検知しオフィス端末を守ってきました。ランサムウェアも【Locky】、【PETYA】も同様です。日本国内向けの攻撃を守ってきた数多くの実績は圧倒的な安心となります。

また、予期せぬ出来事の1つとすると、端末の故障にも等しいランサムウェアの問題は、直前まで実施していた業務データなどの事業経営資源を、一気に消失してしまう問題が明確になりました。そして、身代金を支払っても事態は改善することは無く、むしろさらなる次の標的になるとさえ指摘されています。そのため対処手段は、早急に端末の再インストール構築を実施し業務に復活する手順になります。その手順の中に、直前まで操作していた端末内のデータ復旧を含めることで、深刻なダウンタイムを最小限にすることができます。Secure Back 4 は、リアルタイムで端末の改変データを常にバックアップし保存します。また、データのリストア実施を前提に設計されているため、復旧後の端末内へのデータ復元が、僅かな操作だけで素早く元通りに実施できます。

FFRI yarai と Secure Back 4 の導入は、日本国内でのオフィス端末を安全に利用する最強のコラボモデルとなります。

## ◇ MAXプロテクションパック概要



### 【6つのパックポイント】

① 異なる2つの管理サーバを、スワットブレインズ社のオリジナルサーバに統合搭載したモデルです。  
管理サーバ構築に必要なサーバハードウエア、WindowsServerOSライセンス、構築費用などを1/2以下に圧縮します。  
データセンタなどの運用コスト(ラック費用、電源、監視費用)なども 同様に圧縮できます。

② 1Uサイズでありますながら、データバックアップ時のデータ保管領域になるストレージ容量を3TB~18TBまで多彩に選択することができるため、導入規模に見合った選定が可能です。

③ クライアントに展開インストールするモジュールも搭載しているため端末展開も容易に実施できます。

④ 100台以下の端末環境であれば、ライセンスもお得に。範囲内での端末の増減にも予算変更無く継続運用が可能です。

⑤ 101台以上の端末環境であれば、台数に応じたライセンスで価格設定。サーバ容量と見合った選定が可能です。

⑥ ソフトウェアのライセンス・保守更新費用・サーバの保守費用などをワンパッケージにすることで、予算化も明確になり製品サポート窓口も一本化できます。

## ◇ MAXプロテクションパックタイプ

製品名	製品概要	提供価格(税別)
1 エントリータイプ (RMP-Entry 25~100型)	導入端末数が、25台以下・50台以下・100台以下の環境向けになります。 規定台数以下であれば、台数の変更があっても運用費用の変更はありません。	1,287,000円~ サーバセンドバック保守込
2 スタンダードタイプ (RMP-Standard 100~500型)	導入端末台数が、101台以上の環境向けになります。 FFRI yarai、Secure Back 4 それぞれのライセンスを導入台数分に応じて搭載されます。 最大管理端末は、999台となります。	3,058,000円~ (101台の場合)
3 エンタープライズタイプ (RMP-Enterprise型)	101台以上の環境向けを前提とし、大規模端末台数や、管理サーバの設置環境など、お客様の環境に応じた個別設計でのご提案になります。	個別見積による

・FFRI yarai のみ、Secure Back 4 のみを希望される場合は、別途のご提案となります。  
・導入時、バック用のサーバは、必要なソフトウェアが全てインストール構築済みの状態となります。  
・管理サーバを実装するWindowsServerOS のライセンスは価格に含まれています。  
・導入次年度以降の保守更新契約では、FFRI yarai のみ・Secure Back 4 のみ手続きはできません。統合対応となります。  
・製品価格には、導入設計支援・製品機器の設置設定作業・端末へのクライアントモジュール展開支援費用などは含まれていません。

株式会社名、関連ロゴなどは、各製品開発元の商標または登録商標です。本製品が搭載する、ソフトウェアは、各開発元メーカから提供される正規の製品となります。搭載される製品に関する詳細な機能や仕様については、開発元の情報をご確認いただくか、ご案内の代理店にお問合せください。

※本製品に関する外観、仕様、価格などは、2017年5月1日現在となります。予告なく変更となる場合があります。本資料内に記載される製品名や仕様、及び、数値などは製品開発元から提供された時点の情報となります。そのため最新の情報と異なる場合があります。最新の情報については、製品開発元の情報をご確認ください。また、資料に掲載している企業名や団体名、及び製品・サービス名は、内容の説明のため使用しており、正に登録されている各種権利などを侵害する目的は一切ありません。

企画・販売元



Swat Brains

スワットブレインズ株式会社

ソリューション営業部

京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町267

TEL 075-211-9480(代) FAX 075-211-9481

E-MAIL sales@swatbrains.co.jp

URL <http://www.swatbrains.co.jp/>

20170601-00-00

本製品のお問合せは、